

# 赤松金芳著「新訂和漢薬」より

生薬名 紅藍

新訂和漢薬 記載頁

019

基源 キク科ベニバナ *Carthamus tinctorius* L. の花, 果実, 色素.

部位 花(紅花, 紅藍花): 生用 [一本薬選]; 瘦果(紅花子); 紅色素(燕脂).

作用 花(紅花, 紅藍花):  
無毒. 活血, 止痛 [本草綱目, 古方薬議, 満洲漢薬], 通経 [本草綱目, 満洲漢薬], 潤燥, 散腫 [本草綱目, 古方薬議], 消瘀 [満洲漢薬], 破留血 [一本薬選], 解熱 [古方薬議].

瘦果(紅花子):  
無し.

紅色素(燕脂):  
無し.

応用 花(紅花, 紅藍花):  
産後悪血, 血運 [証類本草, 本草綱目, 満洲漢薬], 絞痛 [証類本草, 本草綱目](= 血気痛 [一本薬選], 腹痛 [満洲漢薬]), 口噤, 胎死, 蟲毒, 下血, 一切腫 [証類本草, 本草綱目].

瘦果(紅花子):  
天行瘡痘 [証類本草, 本草綱目], 血気刺痛, 中風 [本草綱目].

紅色素(燕脂):  
小兒聾耳, 痘瘡, 乳頭裂破, 鵝口, 漏瘡 [本草綱目].

処方 花(紅花, 紅藍花):  
紅藍花飲[吐血], 大成湯[打撲], 紅花散, 和血通経湯, 通経湯[経閉], 脱花煎[難産].

備考